

令和元年度インスタ美守モニターツアー 実施報告書

1

株式会社 旅行読売出版社

目次

➤ 1	事業目的	3
➤ 2	モニターツアー業務	
➤ (1)	概要	4
➤ (2)	インスタグラム講習	5
➤ (3)	メディアによる発信	8
➤ (4)	インスタグラムの投稿	11
➤ (5)	アンケート	14
➤ 3	写真グラフ	16

1 事業目的

首都圏の若年層に富士宮市に来て体験してもらうことで、同市の認知度や好感度を上げる。その上で、若者の新しい目線で魅力を感じた素材を写真共有アプリケーション「インスタグラム」で発信・拡散するとともに、新聞や雑誌でも情報発信し、今後の交流人口や定住人口の拡大を目指すシティセールスの施策の一環とする。

主な業務内容は以下の通り。

- ▶ モニターツアーおよびアンケートの実施
- ▶ インスタグラム講習の実施
- ▶ 新聞、雑誌などメディアによる情報発信
- ▶ インスタグラム発信の報告

2 モニターツアー業務

(1) 概要

- ・開催日 令和元年10月20日
- ・開催場所 富士宮市街地
- ・ツアー参加者 文教大学国際学部 学生28人
インスタグラマー 植松由梨亜氏（講師）
- ・取材 [テレビ] NHK
[新聞] 静岡新聞、岳南朝日新聞
[雑誌] 旅行読売
- ・行程 8時 茅ヶ崎発
10時30分 静岡県富士山世界遺産センター前 ※事故渋滞で1時間遅延
11時 FUJIVISION（インスタグラム講習）
12時 街歩き、昼食
15時 FUJIVISION（インスタグラム発信、講評、編集作業の講習）
16時 出発
18時 茅ヶ崎着

(2) インスタグラム講習

○講習内容

- ・ インスタグラムとは 国内のユーザー数3300万人。旅先も決める情報の宝庫のSNS。
- ・ 撮影時のポイント 正面、斜め、上下とあらゆる角度から撮る。
構図、アングル、奥行きに気をつける。
太陽光の向きに気をつける。
金額やお得情報など、その場に行かなければ分からない情報を盛り込む。
- ・ 編集のポイント 編集アプリ「Light room」などの活用例
明るさ、カラー（混色）、傾き
- ・ 投稿のポイント 何を発信したいのか、目的を明確に。
投稿する時間帯も重要。
ハッシュタグを積極的につける。
※今ツアー例 #美守ツアー2019 #富士宮 #富士宮観光
#富士宮おやつマップ #fujinomiya

○講習や街中での様子



FUJIVISIONでの講習



湧玉池で撮影アドバイス①



湧玉池で撮影アドバイス②



湧玉池で撮影アドバイス③





お宮横丁で撮影アドバイス①



お宮横丁で撮影アドバイス②



(3) メディアによる発信

○NHK静岡ニュース



厚紙

(第三種郵便物認可)

富士宮の魅力インスタに



写真撮影に励む大学生たち=富士宮市の富士山本宮浅間大社

大学生招きモニターツアー

富士宮市は20日、文教大国際学部(神奈川県)の学生を招いた「インスタ美守モニターツアー」を同市中心街で開いた。市の魅力を盛り起こし、写真共有アプリ「インスタグラム」を活用した情報発信や誘客の推進につなげる。

SNS映え、写真撮影 若者視点で情報発信

市内在住のインスタグラマー植松由梨亜さんが講師を務め、インスタグラムの活用方法を伝授した。まち歩きの前後に講習と講評を行い、写真撮影のポイントや加工のこつを紹介した。

参加した1~4年生28人はグループごとに飲食店や酒造会社などを巡った。開催中のイベントを含めてSNS映えする写真を撮影し、関連のハッシュタグを付けてアプリで投稿。若者の視点を通じた市の魅力を伝えた。

ツアーは首都圏「ティールス事業」の一環で実施した。インスタグラムは1人から、つながる多数に魅力的な写真を拡散できることから、PR効果も期待する。市は首都圏の若者を通じた取り組みにより、今後の交流人口や定住人口の拡大を目指す。

(富士宮市庁・白柳一樹)

(昭和28年8月1日創刊) (日曜・祝日休刊) 日刊 岳南朝



若者(首都圏)が富士宮の魅力発信

Instagram モニターツアー 学生の目線でまち歩き撮影

首都圏の若者目線で富士宮の魅力を発掘し、写真共有アプリ「インスタグラム」で発信・拡散する「インスタ美守モニターツアー」が20日、同市大宮町のFUI VISIONと中心市街地で行われた。神奈川県文教大国際学部国際観光学科で学ぶ1~4年生28人が来宮し、市内在住のインスタグラマー植松由梨亜さんから「インスタ映え」のポイントを学ぶ。

「静岡版創作舞妓」の加工方法を学び、実際にまち歩きをしながら撮影した写真をInstagramで投稿受け、まち歩きに出発。大学生から見た富士宮の魅力を紹介した。

首都圏の若年層に富士宮市の魅力を紹介し、まちの認知度や好感度を上げるとともに、若者目線から魅力を感じたものをInstagramで情報発信・拡散してもらうこと

で、今後の交流人口や定住人口の拡大につながることを画した取り組み。市の首都圏「ティールス事業」の一環として行われ、昨年引き続き2回目の開催となった。

学生たちは、FUI VISIONで植松

食育の意識高め 地元食材の販売を通じ

ふじ食農体験交流協会の「地元食材の販売や講習(小堀和子理事長) 伝統工芸体験、ドキュメントと富士山麓有機農業推進センター」映画上映など、来場者が食育の意識を高めた。

会場では同市の銘柄「七ヶ浜(フー)の画祭12」が20日、富士スノーキと串焼き、天宮市佐折の日本大学生 然野母のパン、自然栽培物資源科学部富士自然 培の新鮮野菜など地元教育センターで開かれ、食品・食材のブースを

観光スポットの一つ、湧玉池でアドバイスする植松さん (左から3人目)



富士山本宮浅間大社の参道歩き、櫻門の前で撮影する舞妓装の女性




「いいね!」が多かった富士宮グルメ



美しさを
守っていきましょ

「インスタ」で町の魅力を発信

静岡県富士宮市で10月20日、文教大学国際学部 神奈川県茅ヶ崎市)の学生を招いてSNS「インスタグラム」で観光地の魅力を発信する「インスタ美守モニター」が行われた。



上 / 静岡県富士山世界遺産センターの前で富士山ポーズ
右 / スイーツと鳥居の構図で「インスタ映え」を探す

富士山の南西麓に広がる富士宮市は最低標高35m、最高は富士山頂の3776mと、日本一の標高差を誇る。参加した学生28人はまず、同市在住のインスタグラマー・植松由梨亜さんの講習を受けた。奥行きや被写体のバランスなど撮影する時のコツや、ハッシュタグを付けて拡散する重要性を学んでから、街地で印象的なものを探した。

訪れた日は創作舞妓のイベントが行われ、あてやかな着物姿で静岡県富士山世界遺産センターや富士山本宮浅間大社などを歩く女性たちは格好の被写体となった。多くの学生が撮影したのはスイーツや日

グルメだが、「食べ物撮るのは一番難しい」と植松さんは言う。名物の富士宮やまそばを撮影していた大橋慧さんと小野沙江佳さんは「魅力あるものを探して撮影する目的を持った旅なので、普段より構図などに目がいきます」と語りながら撮影し、写真に添えるコメントの効果的なつけ方も質問した。

ほとんどの学生は同市を訪れるのは初めてだが、思い思いに探した魅力を発信「自然や歴史に興味を持ち「泊まりがけで再訪したい」と、さらなる魅力の発信に貪欲な学生も多かった。

【問い合わせ】富士宮市観光協会 ☎0544-27-5240 <https://fujinomiya.gr.jp/>

(4) インスタグラムの投稿

○「いいね！」数 上位投稿 ※10月28日現在



1位 岸愛果さん 153件



3位 嶋本早希さん 45件



2位 西野励祐さん 47件



4位 武川菜々子さん 31件



5位 梅原花恵さん 29件

○その他の投稿





植松由梨亜さん（講師）

(5) アンケート

①富士宮市の感想	
景色がいい	22
B級グルメがおいしい	21
人が温かい	19
自然が豊か	16
市街地が寂しい	12
食が豊か	11
町の散策が楽しい	10

自由回答でもシャッター街が寂しい、日曜なのに閉まっている店が多いという意見が多く、景色・グルメ・人の高評価と対照的。

③インスタ映えするスポットは	
富士山本宮浅間大社	20
富士山	14
湧玉池	13
神田川	11
お宮横丁	11
静岡県富士山世界遺産センター	9

②インスタ講座について	
新たな知識を得られた	23
今後の発信に生かしたい	23
インスタの奥深さを知った	17

役に立たなかったという回答は皆無で、技術面でも役に立ったと思われる。

④次回訪れるときに何を目的にするか	
グルメ	19
景色	16
祭り、イベント	11
ハイキング、ウォーキング	8

静岡県富士山世界遺産センターの得票が思いのほか少なかった。

⑤次回訪れる時は誰と訪れたいか

友人	22
家族	13
恋人	7
一人	5

⑥次回訪れるときの日数は

日帰り	20
一泊	11
二泊	4

モニターツアーは日帰りだったが、宿泊に対する需要もうかがえる。

⑦首都圏の人に富士宮市をPRする手段は

SNS	26
メディアとタイアップ	12
モニターツアー	10
都内でイベント	6
ポスター	3

SNSやモニターツアーはツアーの主体だから当然として、メディアとのタイアップに可能性をみる学生も多い。

⑧全体の自由感想

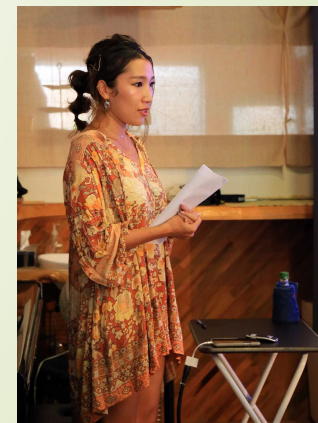
目的があると観光スポットを絞りやすかった	7	観光スポットがまとまっていた	
シャッター街をどうにかしたい、残念だった	5	世界遺産センターがキレイで感動した	
インスタの画角の大切さを学んだ	2	もっとPRが必要	
イベント開催日や日曜日は店を開けるべき	2	外国人に人気だと感じた	

3 写真グラフ

○集合写真（静岡県富士山世界遺産センター）



○インスタグラム講習



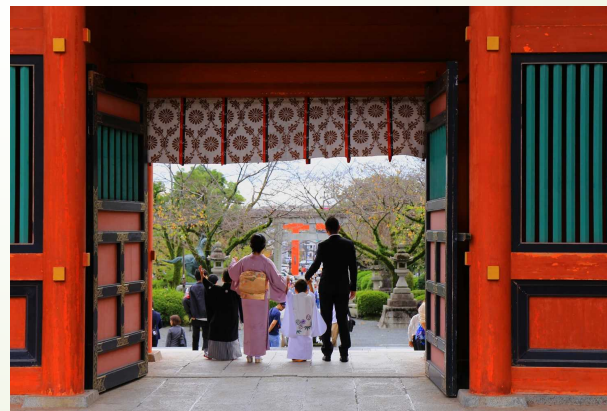
○創作舞妓



○取材風景（左：NHK 右：静岡新聞）



○富士山本宮浅間大社



株式会社 旅行読売出版社

〒101-8413 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル2階
電話03-6858-4300 F A X 03-6858-4301